



学校だより

令和6年 1月 10日
No. 8 1月号
横浜市立瀬谷第二小学校
校長 山崎 由美

学校教育目標

友情わく かわく 希望わく 毎日わくわくする学校



野球しようぜ！思いを形にしようぜ！

校長 山崎 由美

新しい年を迎えました。今年は温かく穏やかな年明けを迎えたと思っていた元日夕方、能登半島を大きな地震が襲いました。寒さが厳しい中です。一日も早い復旧をお祈りすると同時に被災地の方々及び関係する皆様にお見舞い申し上げます。

さて、昨年11月上旬にアメリカ大リーグロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手（当時はエンゼルス在籍）が日本全国の小学校にグローブを贈るというニュースが飛び込んできました。翌日教室を回っていると、授業中でしたが5年生の児童が「先生、瀬谷第二小学校にもグローブきますか。」とこそっと聞いてきました。きっと昨日からうちの学校にも来るのかどうか期待と不安が入り混じった気持ちでいたのでしょう。私も思わず「くるでしょう。」と答えると「やった。」という声にちょっぴり教室がざわざわしてしまいました。子どもたちにとっても驚きのニュースだったし、楽しみにしているのだなと感じました。その日の休み時間には、別の児童でしたが廊下で「大谷選手のグローブはいつくるんですか。」と声をかけられました。それほどこのニュースは子どもたちにとって自分事であり期待が高いものなのでしょう。

そして、12月の冬休み直前、各地で続々とグローブの到着が報じられ喜びに満ちた子どもたちの表情が写し出されました。横浜はというと市の規模が大きいこともあり、保管場所、引き渡し方など様々なことを考え、1月下旬から2月くらいの予定だそうです。届けられるのは3つ。本校の児童数は570名余り。この条件でどう使うか考えなければなりません。子どもたちの早く使ってみたいという気持ちだけでなく、卒業間近な6年生のこと、そして何より送ってくれた大谷選手の意図もふまえ、どうすることがよいか子どもたちと一緒に考えたいと思います。自分の気持ちだけではなく、周りの気持ちや相手の意図も含めて考える経験を積むこと、そしてそれが形になることで子どもたちは視野が広がり、考えや言葉に責任をもつことを学ぶでしょう。グローブという物を通じて相手の気持ちを理解するという経験が、次の自分の気持ちを形にする勇気と自信に繋がっていくことでしょう。

大谷選手の“野球しようぜ！”というメッセージから、子どもたちの自分の思いを形にする勇気に繋げていきたいと思います。今年度は、子どもたちの登下校を見守ってくださっているパトロール隊の皆様にお渡しするタオルマフラーのデザインを委員会の子どもたちに任せました。子どもたちの感謝の気持ちが色の選択やデザインに表れています。これからも子どもたちの思いや考えを形にする機会を意図的に作っていきます。今年も子どもたちのよりよい育ちのために保護者、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆瀬谷第二小学校ホームページに、日々の学校の様子を、「わくわくレポート」として不定期でアップしています。合わせてご覧ください。

